



2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹



ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 9 月第 1 例会 (2014.9.2) No.3054

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

さて、日常のささやかな事柄にすぎませんが、6 年前から習慣にしていることがあります。それは、職場にいらした県外からのお客様に、私に対応することになった場合、最初にお出しする飲み物については、それが日本人で、また、予め飲み物のお好みかわからない時には、できるだけ煎茶をお出しするようにしている、ということです。理由は、新潟県には「村上茶」という特産品があり、県外の方でできるだけ新潟県の名産品を知ってほしいからです。

村上地方は、いわゆる「北限の茶処」として有名です。一般的には年間平均気温が 11 度の地域がお茶の栽培の北限とされており、新潟・群馬・栃木・茨城の四県を結ぶ線の以南ということになります。つまり村上地方がもっとも北になります。但し、太平洋側では、もっと北の陸前高田市の周辺が、いわゆる「気仙茶」の茶処として知られています。もっとも、「気仙茶」の栽培は自家用が主となっているようで、経済的に茶の栽培がひきあい、集団的に栽培され、商品として流通しているお茶の産地としては、村上地方が北限となっているようです。この北限でお茶が栽培されるようになったのは、1620 年代、江戸時代の初期のことです。村上藩の大年寄だった徳光屋覚左衛門（とくみつやかくざえもん）が宇治伊勢の茶の実を買入れて地場産業にしようとした、あるいは、当時の藩主だった堀丹後守直奇が宇治から取り寄せたといわれ、約 400 年の歴史があります。明治時代には、日本では珍しく紅茶の製造も行われ、ニューヨークやウラジオストクにも輸出されていました。近年、この紅茶が復元され、商品化もされています。

このような「村上茶」の由来は十分興味深いものですが、やはり、飲食物であるからには、その味が良いとか、身体に良いとかといったことがなくては、単に物珍しい産物というにすぎません。しかし、村上地方は、他の産地に比べて寒い冬の季節が長く、年間の日照時間が短くなっているため、そのお茶は渋味の素であるタンニンの含有量が少なく甘味が強く感じられる、と言います。つまり、「北限の茶処」、緑茶と紅茶の生産と輸出、そして、渋みが少なく甘みのある優しい味、という美点が揃っているのです。

さて、お茶をお出しする際には、当然のことながら、茶

碗や茶托を使うこととなります。

茶碗については、佐渡の無名異焼でお出しすることになっています。佐渡金山採掘の際に出てくる、酸化鉄を含む赤土を無名異土と言い、止血のための漢方薬ともされていました。それを陶土に利用して焼かれるようになったのが無名異焼で、1840 年くらいまで遡るものようです。他の焼き物の土よりも粒子が細かく、堅く焼締まるので金属音を発するのが特徴で、さらに光沢を出すために磨きの作業を二度行なうことは、他の陶器に見られない特殊な技術なのだそうです。2003 年に重要無形文化財の指定を受けています。このように言うと、大変な高級品のような感じがしますが、幸いなことに地元の新潟では比較のお安く手に入れることができます。

また、茶托については、「新潟漆器」のものを使用しています。輪島塗や会津塗と並んで、新潟も古くから日本有数の漆器の産地でした。秋田の春慶塗が伝わって江戸時代のはじめから始まったとされますが、1638 年には、現在の古町 7 番町付近に、塗り物の専売地域が定められたそうです。大正から昭和初期が最盛期で、今では当時ほどの生産はありません。しかし、「新潟漆器」は技術と手間を要する「変塗（かわりぬり）」の宝庫とされており、「磯草塗」、「石目塗」、「錦塗」、「花塗」、「竹塗」の 5 技法は、国の伝統的工芸品に指定されています。なかでも、鞘を塗る技法から生まれ、竹を模して漆器を作る「竹塗」は「新潟漆器」を代表するものとされています。これも、地元では比較的安く購入することができるので、「竹塗」の茶托を使っています。ところで、数年前に職場で永年勤続表彰を受けたのですが、記念品は三つの品物の中から選ぶことができました。その一つに「竹塗」のお盆がありましたので、私は大喜びでそれを選び、愛用しています。

このように「村上茶」をお客様にお出しすると、それ自体が新潟の名品であるだけでなく、他の新潟の名品と組み合わせおもてなしに使うことができます。勿論、お茶をお出しする際に一々このようなことを説明するわけではありません。初めてお会いする時にはお茶や茶器にご関心があるかどうかかわからない場合が多く、まずは黙ってお出しします。お茶か、茶碗か、茶托ないしお盆についてお客様から何か一言があった時にだけ、少しずつ説明し、何のコメントもない時は、残念ですが黙って何も言わないことにしています。

しかし私が新潟のお茶を気にかけるのには、もう一つ理由があります。

私は職業柄海外の方に対応したり、海外に出張したりすることが少なくありません。最初の挨拶や仕事の話と前後して、アイスブレイキングの会話や懇親の場では、何らかの当たり障りのない話題が必要になります。そのような時に、どの都市から来たのか尋ね合うことがよくあります。当然私は新潟と答え、相手は新潟がどこにあるかわからないことが多いので、東京から高速列車で2時間北西に行ったところで、海に面している、と言います。しかしこれでは土地の様子が具体的ににならないので、米や日本酒の大産地であることなど加えますが、お茶の話をすると思いがけず話が盛り上がる場合があります。

ご存じのように、中国、台湾をはじめ、東アジアの国々ではよくお茶を飲みます。また、インドではスパイスを利かせたミルクティーが好まれ、スリランカでは細かく刻んだ生姜を紅茶に入れて飲みます。そして近東の国々では、濃い紅茶にたくさん砂糖を入れて飲みます。写真のように、トルコではきれいなガラスの器で楽しみますし、砂漠の中で遊牧民のガイドさんからお茶を淹れてもらったこともあります。このティーポット(写真)は、サハラ砂漠の遊牧民の工芸品です。そして、西洋では、とりわけイギリスのアフタヌーンティーが有名ですが、コーヒーとともに紅茶がよく飲まれています。これらのお茶は、基本的にはみな同じ植物で、醗酵のさせかたなどの加工方法が異なるだけです。

つまり、お茶というのは多くの国の人々と共有できる差し障りのない話題で、しかも、それぞれの国や地域によってははっきりと個性があり、かつ、日本には独特なお茶のセレモニー(つまり茶道)があることは国際的によく知られており、加えて、新潟は日本の中でも特別なお茶の産地なのです。国際的なおつきあいの場で、これほど便利な話題はなかなかありません。

前回、前々回の会長挨拶でも、新潟の名産品を国際的な立場からどのように見ることができるか、というコメントを絡めながらお話しをしてきました。国際化している今の時代においては、地域のトピックも、地域だけのこととして眺めるのではなく、全国の中での特色や、世界の枠組みでどのような価値を見つけていくのか気にかけていかざるをえない状況にあるように思います。また、先週末以来の北陸新幹線のこともあります。直接関係するのは上越地方であるとはいえ、今後、中越、下越地方にもどんな影響があるかわかりませんし、新潟県全体の魅力という問題が気になるところであります。大きな政治、経済的な方策と並んで、日頃から慣れ親しんでいる地域ならではの事柄も改めて見直し、新たな価値を見出していきたいものと感じております。

(3) ビジターの紹介

・山口眞樹君(金沢 RC 新潟 RC 元会員)、
松本英明君(浪江 RC)、菅原恵子さん(村上 RC)

(4) 米山奨学生 朴 治国さん挨拶・奨学金贈呈

(5) 100%出席バッチの贈呈

八島 進君 1年 竹石 松次君 7年
横山 芳郎君 26年

(6) 誕生日お祝い贈呈(12名)

(7) 結婚記念日お祝いの紹介(7名)

(8) 2013-14年度会計報告(若槻良宏前幹事)

・福地 利明監査役より監査報告

(9) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(樋熊 紀雄委員長)

登坂 直美君 樋熊 紀雄君

米山奨学会寄付発表(小木 順一郎副委員長)

徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(山田 隆一委員長)

高橋 清文君

(10) ニコニコボックス紹介

・松本英明君(浪江 RC)、山田眞君、高橋清文君 先週火曜日、前橋 RC の納涼例会に参加して来ました。皆様から大歓迎を受け大変楽しいひとときを過ごすことが出来ました。翌日は赤城国際カントリークラブでゴルフプレーと盛り沢山の2日間を過ごし、帰路につきました。都丸会長、藤野幹事をはじめ前橋 RC の皆様に感謝しニコニコします。

・渡辺洋一君 今月は誕生日と結婚記念日です。皆様からダブルにおめでたい？と言われましたのでニコニコします。

・武田博之君 昨日9月1日に損保ジャパンと日本興亜が合併し新会社「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」が発足しました。合併発表以来長い道のりでしたが、合併の日を迎えニコニコします。これからどうぞよろしくお願ひ致します。新会社は大変長い名前でジャパンと日本が入る名前になります。

・務台昭彦君 先週土曜日、24時間テレビのイベントと放送が無事終了し、たくさんの募金を視聴者の皆様に頂いたことに。

・塚田 正幸君 8月17日から昨日まで16日間沖縄で断食に行つて来ました。新聞、テレビ、ラジオ、パソコン、携帯無の生活でした。断食7日間は水だけ、8日目に玄米スープと指先ほどの味噌を初めて食べ1週間かけて回復食で徐々に元へ戻りました。7日間食べなくても髭が伸びオナラが出ました。体重7Kg減りましたが今は食べ物を食べられる事に心から感謝しています。

・高橋清文君 前妻に先立たれ27年間ひとり身で過ごして来ましたが子供達3人共それぞれ家庭を持つようになりましたのでこの機に、ご縁の方と8月8日入籍致しました。被災s 振りの2人での生活にちょっと、とまどいもありますが、仲良く晩年を過ごしていけたらと考えております。

(11) 高橋清文君へ御祝贈呈



幸せ一杯の高橋清文さん

(12) 卓話「今 なぜグローバル教育なのか」

新潟明訓中学校・高等学校 校長 大滝 祐幸氏



(13) 本日の出席率 72.64 %
(2週間前メイク後 87.10 %)

9月1日 理事会報告 出席者10名

- 1 2013～14年度決算＝承認
 - 2 青少年育成基金設置規則第7条改訂について＝継続審議
 - 3 ロータリーデーについて
(登録料3500円 家族1000円)
補助は承認、金額、担当委員会は会長一任。
メイクアップ扱いも承認
 - 4 入会被推薦者審査＝承認
株北越銀行新潟支店
取締役新潟支店長 佐藤 厚君
株第四銀行 執行役員本店営業部長
兼新潟空港出張所長 吉弘賢治君
 - 5 9月のプログラム＝承認
- 9月2日 卓話「今 なぜグローバル教育なのか」
新潟明訓中学校・高等学校校長 大滝 祐幸氏
- 9月9日 会員スピーチ「地区クラブリーダーシッププランについて」
小山 楯夫ロータリー情報委員長
- 9月16日 会員スピーチ
「会員増強と我がクラブの現状について」
(仮)
石本隆太郎クラブ奉仕A委員長
- 9月23日 祭日につき例会を開催致しません。
- 9月30日 卓話(公財)中越防災安全推進機構
稲垣文彦 復興デザインセンター長
- 6 その他
 - ① ボーイスカウト世界大会への支援依頼の件＝1クラブ1万円の支援要請を了解
 - ② ガバナー公式訪問について
 - ・現況報告書完成後に訪問してもらうように要請
 - ・予算の3期対照表を作成→今年は別紙で事務局作成
 - ③理事会の時間について
議題によっては1時間とする。
 - ④国際ロータリー規定審議会採決の電子投票導入について＝申し入れを行う

9月9日の例会予定

会員スピーチ

「地区リーダーシッププランと
クラブリーダーシッププランについて」
小山 楯夫 ロータリー情報委員長

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>